

ウトナイ湖通信



No.250

2025年3月号



3月は、コハクチョウがウトナイ湖で羽を休める姿を見ることができます。本州で越冬してユーラシア大陸北部の繁殖地に向かう旅の途上、ウトナイ湖を中継地として利用しています。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

3月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

3月9日(日)10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員:10名程度 ●申込:不要。直接当センターへ。
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- ※防寒着を着用し、雪上を歩ける靴でお越しください。

毛糸のポンポンで野鳥を作ろう~オオワシ編~

3月15日(土)11:00~

- 定員:事前申込先着4組(1組1作品まで)
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:3/1(土)~3/14(金)まで、電話で当センターへ



ウトナイ湖・水辺の渡り鳥ウォッチング

3月16日(日)10:00~12:00

春の渡り鳥として飛来する水鳥を観察します。オオワシやオジロワシも見られるかもしれません。双眼鏡や図鑑もお貸しします。

※荒天時は3/23(日)に延期

- 定員:事前申込先着15名
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:3/1(土)~3/15(土)まで、電話で当センターへ

アイロンビーズで野鳥を作ろう~シマエナガ編~

3月22日(土)11:00~、14:00~

- 定員:事前申込先着各4組(1組2作品まで)
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:3/8(土)~3/21(金)まで、電話で当センターへ



市民ギャラリー

「苫小牧の自然写真展」

開催期間:2025年3月1日(土)~3月23日(日) 展示:苫小牧市環境生活課
市内で撮影された自然景観、野生鳥獣、植物、昆虫などの写真が並びます。



◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライウェイ・パートナーシップ



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。

ヤマシギ



搬入直後の様子



保護から2日目の様子

原因：人工物への衝突疑い

10月25日



10月26日



10月27日

リリース

人工物に衝突したのか、動けずにいるところを保護され、当センターに搬入される。
明らかな外傷は認めなかったが、動きは緩慢で、脳しんとうを起しているような様子がうかがえた。安静にして経過観察とした。
生息環境に類似させるため、落ち葉を敷き、餌のミミズを置く。自発採餌は認めなかったが、動きも良化しリリースに至る。

ヤマシギ (チドリ目 シギ科)

全長34cm。雌雄同色。三角形の頭と、ころっと丸みがかかった体型、地味な羽色をしています。頭頂から後頭にかけて4本の太い横しまが特徴的です。北海道へは夏鳥として渡来します。夜行性で、朝夕の薄暗い時や夜間、森の上空を「チキッ、チキッ、ブーブー」と鳴きながら飛びます。

トピックス



ボランティアフォローアップ研修 冬の生きものの痕跡を学ぶ

ボランティア研修で、植物の冬芽や雪上のキタキツネとエゾタヌキ、エゾシカの雌雄の足跡の違い等の知識を深めました。痕跡からその生きものが何をしていたのか考える楽しさを学び、観察会等で実践したいという声が聞かれました。



環境省主催「世界湿地の日記念イベント」

ラムサール条約湿地であるウトナイ湖で、2月2日の世界の日にあわせてイベントを開催しました。湿地の生きものをグループに分かれて記録し、それぞれどのような繋がりを持っているのかまとめました。湿地の価値を知り、自分たちに何ができるか参加者と考えていきました。



ボランティアコーナー

1/26 に開催したボランティアフォローアップ研修に参加されたボランティアの みやもと さんにインタビューしました。

哺乳類や植物など、様々な自然に詳しいベテランボランティアのみやもとさん。
今回も研修で生きものの足あとについて解説してくださいました。

フォローアップ研修「冬の生きものの痕跡」に参加された理由を教えてください。

昔と比べて動物の足跡がどのように変化しているのに興味があった。

参加して気が付いたこと、印象に残ったことはありましたか？

昔はそこいら中にあった「エゾユキウサギ」の足跡が見ることが出来なかった。代わりに「エゾシカ」の足跡が増えていた。



ウトナイ湖 ◀ お楽しみコーナー

【ウトナイ湖・クイズ】

雪解けが進むと姿を現すエゾアカガエル。4月から5月にかけて水辺で大合唱を聞かせてくれます。さて、このカエルの学名は *Rana pirica* です。「Rana」は「アカガエル」という意味ですが、「pirica」はどういう意味でしょうか？

- A. 美しい
- B. 春の
- C. 声大きい
- D. 茶色の

※ 答えは最後のページにあります。



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)



